

日付：      年      月      日

氏名： \_\_\_\_\_

たし算をしましょう。

所要時間  分  秒

$75 + 6 = ( \quad )$

$75 + 3 = ( \quad )$

$40 + 3 = ( \quad )$

$84 + 6 = ( \quad )$

$38 + 5 = ( \quad )$

$12 + 9 = ( \quad )$

$89 + 4 = ( \quad )$

$63 + 4 = ( \quad )$

$57 + 2 = ( \quad )$

$48 + 7 = ( \quad )$

$33 + 8 = ( \quad )$

$20 + 5 = ( \quad )$

$12 + 7 = ( \quad )$

$96 + 4 = ( \quad )$

$24 + 9 = ( \quad )$

$27 + 1 = ( \quad )$

$96 + 1 = ( \quad )$

$59 + 8 = ( \quad )$

$61 + 6 = ( \quad )$

$31 + 2 = ( \quad )$

日付： 年 月 日

氏名：

次の詩を、大きな声で読みましょう。

夏の日の歌

中原中也

青い空は動かない、  
雲片一つあるでない。

夏の真昼の静かには  
タールの光も清くなる。

夏の空には何がある、  
いぢらしく思わせる何かがある、

焦げて凶太い向日葵が  
田舎の駅には咲いている。

上手に子供を育てゆく、  
母親に似て汽車の汽笛は鳴る。  
山の近くを走る時。

山の近くを走りながら、  
母親に似て汽車の汽笛は鳴る。  
夏の真昼の暑い時。



日付： 年 月 日

氏名：

次の詩の、□になつてゐる部分を書きましよう。

夏の日の歌

中原中也

青い□は動かない、

□□一つあるでない。

夏の真昼の□かには

タールの光も□くなる。

□の空には何がある、

いぢらしく思わせる何かがある、

□げて凶太い□□□が

□□の駅には咲いている。

上手に子供を□てゆく、

母親に似て汽車の□□は鳴る。

山の近くを走る時。

山の近くを走りながら、

母親に似て□□の汽笛は鳴る。

夏の□□の□い時。



日付：        年        月        日

氏名： \_\_\_\_\_

文字の順番がばらばらになっています。文字を並べ替えて、正しい言葉を右に書きましょう。テーマは「料理」です。

1. みさし

2. そるしみ

3. らおいすむ

4. ひやっこや

5. かすいられー

6. はばーぐん

7. まやだきめ

8. ちんむわしゃ

日付：      年      月      日

氏名： \_\_\_\_\_

左と同じように、右に記号をかきましょう。

